



「私は、『自分にしかできないものをつくるんだ』といつも心に言い聞かせていました。そのためには、自分で工場をつくることです。たった一人で始めた工場で、寝るひまもおし  
み働きました。しかし、どんなに研究しても  
失敗のくり返しでした。」

稔ひたの額ひたいにきざまれたしわが、ゆがんで見えま  
した。きっと、当時のつらく、苦しい日々を思  
い出しているのでしょう。しわの一つ一つが、  
稔の生き方を物語っているようです。

「しかし、私は決してあきらめませんでした。  
いつしか、私の仕事が認められるようにな  
りました。発明賞など、たくさんのお賞をいた  
だくことができるようになったのも、あきらめずに努力したからだと信じて  
います。」

今、幸せにも多くの人を使って会社を経営しています。社長と呼ばれるよ